

特記仕様書

(施工条件明示事項)

本工事を積算、施工するにあたり、以下の事項について留意すること。

(工事の趣旨)

本工事は、松井新田配水池の薬品注入設備を更新する工事である。

(積算)

- (1) 本設計書は、令和7年度国土交通省水道施設整備費に係る歩掛表を基準とする。
- (2) 工種区分は、構造物工事（浄水場等）。
- (3) 積算単価は、令和7年12月1日適用及び、機器費、資材費、既設撤去品運搬費については、見積単価を採用している。
- (4) 施工地域等区分は、補正なし。
- (5) 契約保証は金銭的保証。
- (6) 物価の変動による資材費の変更は单品スライド条項を運用。
- (7) 冬期補正なし。

(施工基準)

本工事の積算・施工については、上田市上下水道局の下記、基準に基づいている。

(水道施設設計基準・水道工事標準仕様書・品質管理基準・出来高管理基準・写真管理基準・提出書類様式集・給水装置工事施工基準)

(施工条件等)

建設業法等遵守すること。

現場施工上変更等が生じた際は、必ず協議書等を提出し監督員の指示を受けること。

(工事工程関係)

請負者は、下請け契約がある場合は施工体制台帳・施工体系図を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出しなければならない。

なお、施工体制台帳には、建設業法施行規則第14条の2第2項に基づき下請負に係る請負契約書等の写しを添付しなければならない。

(現場の制約・条件)

- ・工期は、雨天・休日を含み、令和8年6月30日までとし、休日には日曜日・祝日、夏季休暇、年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。
- ・週休2日工事

対象外工事 本工事は、週休2日工事（発注者指定方式）の対象工事ではありません。

- 対象工事 本工事は、週休2日工事（発注者指定方式）の対象工事です。
- ① 月単位の週休2日（4週8休以上）となるように現場閉所日を設定し、施工計画書に記載すること。
 - ② 施工計画書に従い、現場閉所を実施すること。
 - ③ 施工計画書に記載した現場閉所日を変更する場合は、事前に監督員と協議し承諾を得ること。
 - ④ 現場閉所の実施状況が現場閉所率28.5%に満たない場合は、経費補正分を全額減額変更されるとともに、工事成績評定において減点されるので注意すること。
 - ⑤ 週休2日工事の実施に当たっては、「上田市週休2日工事実施要領」に基づき行うこと。
 - ⑥ 週休2日の対象外とする作業と期間は、下記のとおりとする。

作業	期間	備考

- ・施工期間及び施工方法等について下記の制約・条件があるため、事前に工程の調整を行うこと。
(保安林解除申請・埋蔵文化財事前調査・自然公園法施行承認申請・工事自粛期間・JR近接工事・緊急工事区分・運搬／労務補正・山間地域運賃補正等)
地元・関係機関との協議
- ・着工に当たって、下記の協議を関係機関及び地元住民とすること。

関係機関等	協議事項	内容	時期
・沿道住民及び商店等 ・地元自治会	・工事説明	・工事内容、施工方法、交通規制など	施工計画書作成後、速やかに実施すること

(地元耕作者・地区・水路管理者・公共機関・ライフライン事業者・JR等)

※なお、協議結果は施工計画書・協議記録書（様式任意）に記載し提出のこと。

(近接・競合工事)

- ・本工事に近接ないし競合する工事が施工される場合、請負者間相互の連絡調整を密にして、その内容を監督員に報告して施工すること。

(機器類) ※詳細は、下記「薬品注入設備更新工事 詳細事項」を参照すること。

次亜注入機更新工 N=2台

(検査) ※詳細は、下記「薬品注入設備更新工事 詳細事項」を参照すること。

社内検査、日本水道協会検査

検査項目

- (1) 外観検査

- (2) 寸法検査
- (3) 作動検査

(試運転調整)

使用時に係員を派遣し、試運転調整を行うこと。

(暴力団員等からの不当要求に対する報告)

受注者（受注者の下請負人等を含む。）は、当該契約の履行に当って、暴力団員又は暴力団関係者から不当要求を受けたときは、遅滞なく警察に通報するとともに、市へ報告すること及びその他必要な措置を講ずるようにしなければならない。

(保証期間)

本工事における機器の保証期間は、引渡し完了後2年間とする。

(その他)

・着工前に近接する他工事関係者、地下埋設事業者、公共交通機関等、十分協議の上施工すること。また、近接する土地所有者と境界・工作物等について十分協議、確認してから施工すること。

他工事が同時に行われる場合は、他工事の施工業者と安全協議会を構成運営し、安全管理、工程管理、防犯、技術協力等で綿密な連携のもと施工すること。

NTT 管路、ガス管及び下水道管等の周辺掘削に際しては、人力にて先掘確認後施工すること。

通行制限については道路管理者と十分な協議を行い、指示に従って実施すること。

交通管理（歩行者、車両）には十分な配慮をし、第3者災害の防止に万全を期すこと。また、通行止の場合には迂回路看板等十分配置し施工すること。

施工にあたっては、工事区域関係住民と十分な協議をして施工すること。

占用位置図（横断図）の提出にあたっては、他の占用物件も忘れずに記入すること。

『建設工事公衆災害防止対策要綱』を十分把握し、事故防止に配慮すること。

管破損等事故が発生した場合は、至急発注担当課へ連絡し指示を仰ぐこと。

事故発生後、起因者は必ず発注担当課長へ事故報告を行う。また、施工業者は事故報告書を早急に提出すること。

・熱中症

夏季における猛暑日などの過酷な環境下（炎天下や高温多湿場所）での作業による熱中症の発生が懸念される場合は、熱中症予防対策を講じること。

(特記事項)

1 事前に資材の搬入経路等の現地状況を確認すること。

2 工事の施工にあたり、本配水池は稼働中の水道施設であるため、水位の低下、断水事故等、運用に支障が発生しないよう必要な対策を講じること。また、既存建物等を棄損しないように十分注

意すること。万一損傷した場合は監督員の指示に従い速やかに復旧すること。

3 本特記事項に記載のない事項及び異議が発生した場合は、その都度監督員と協議の上、施工すること。

薬品注入設備更新工事 詳細事項

1. 納入機器・資材

本工事に使用する機器等の仕様は次の通りとする。

1. 次亜塩素酸ナトリウム注入機

(1) 仕様

形 式	浸漬式バルブレス定量ポンプ（貯蔵タンク注入ポンプ1台乗せ）
型 式	G XM-B 10J-0000
吐 出 量	6.0～0.012mL/分（最大吐出量：6.0mL/分）
吐 出 壓	1.0 MPa
電 源	1φ、AC 100～240V(±10%)、50/60Hz
消費電力	70～80VA
貯蔵タンク	100L PVC製、液位電極取付座付、Lアングル付
液位電極	チタン製 2P
そ の 他	ブレードホース φ4×φ9

(2) 数量	2台組
--------	-----

2. 注入管ユニット

(1) 仕様

形 式	配管パネルユニット
寸 法	800W×600H程度
口 径	吸込口：φ4 コネクタ付チャッキ弁接続 吐出口：φ4 ホースコネクタ接続
構 成 品	配 管 HIVP、透明 PVC 弁 類 以下参照
	隔膜式圧力計 15A ネジ 1個
	背圧弁 15A F 1個
	ボール弁 15A TS 6個
	配管パネル PVC板 10t相当 1枚
主要材質	接液部 PVC、FKM

(2) 数量	1台
--------	----